

助教

矢治 亜樹子

■ 学歴

1. 2020 年 公立大学法人福岡県立大学 大学院看護学研究科 看護学専攻修士課程
(精神看護専門看護師コース) 卒業

■ 学位

1. 2020 年 修士 (看護学)

■ 研究分野

1. 精神看護学
- 2.
- 3.

■ 研究キーワード

1. 統合失調症 長期入院 退院支援 地域生活
- 2.
- 3.

■ 研究課題

1. 長期入院後に退院した統合失調症患者の地域生活について実際に明らかにしたうえで考察する。
また、その中で得た示唆から長期入院に至っている統合失調症の退院支援の在り方について考察する。
- 2.

■ 担当授業科目

1. 看護キャリア形成論 (前期) 必修
2. 精神看護学演習 (前期) 必修
3. 精神看護方法論 (後期) 必修
4. 災害看護学 (後期) 必修・選択
5. 看護学(栄養学科) (後期) 選択
6. 精神看護学実習 (通年) 必修
- 7.
- 8.
- 9.
- 10.

■ 授業を行う上で工夫した事項

※ 助教・助手については、実習・演習等の指導を行う上で工夫した事項

1.	授業科目名【看護キャリア形成論】 専門看護師の資格取得に至った自身のキャリア形成を事例として学生がイメージしやすいように工夫いたしました。の中で、資格取得の方法やそのための準備など、関心を持ちながら具体的なイメージが持てるように工夫しました。さらに、資格取得後の活動について紹介し、専門看護師の役割を知ると同時に自身の今後のキャリアについて考えることができるように工夫しました。
2.	授業科目名【精神看護学演習】 実習での看護実践へ繋がることを意識し、統合失調症をもつ人へのケアについて事例をもとに展開しました。オレムアンダーウッド理論に加え、リカバリー、ストレングスの概念をもとに、その人が歩んできた人生に触れながら統合的な視点で事例への理解が深まるように工夫いたしました。さらに精神医療の現場で求められる地域移行についての基本的な枠組みの意識や地域の中で、その人が自分の人生を生きることができるケアが見いだせるようにクライシスプランの活用を取り入れるなどの工夫をしました。
3.	授業科目名【精神看護方法論】 「精神障害をもつ人への看護」として、知的発達症、自閉スペクトラム症、注意欠如/多動症、PTSD、パーソナリティ障害などをもつ人へのケアについて解説いたしました。基本的な病態や関わりについて、臨床現場での実際の体験をふまえ、イメージしやすいように工夫いたしました。その中では、単に関わりの事例のみならず、疾患をもつ人の苦しみ、そしてストレングスを最大限に活かすることができる専門職の関わり、そして医療者の葛藤を支える専門看護師の役割などについて解説いたしました。また、国家試験問題を用いながら学んだ知識が定着するよう工夫しました。
4.	授業科目名【災害看護学】 「災害時の被災者および援助者へのこころのケア」として、被災者のストレスと心理過程について防衛機制、悲嘆のプロセス、危機理論などを用いて説明しました。また PTSD などの疾患の成り立ちとケアについて動画などを用いてイメージできるように工夫しました。さらに DPAT の取り組みについては実際に活動した先遣隊の方へのインタビューを伝えるなど、少しでも実践を感じることが出来るように工夫しました。
5.	授業科目名【看護学】 「統合失調症・うつ病、アルコール依存症・摂食障害をもつ人のケアとチームアプローチ」としてそれぞれの疾患における基本的な知識と必要な看護について事例を用いて説明することや、AUDIT を用いてスクリーニングテストを体験するなどイメージしやすいように工夫いたしました。また、他職種としてチームアプローチをする際の注意点や工夫について説明しながら、他職種連携についての重要性と専門職の役割が理解できるようにしました。
6.	授業科目名【精神看護学実習】 入院中の患者さんとの関わりを通して、その人の人生に触れながら看護理論を用いて統合的な理解を行い、患者さんのニーズに沿ったケアが行えるように工夫いたしました。その中では、精神看護学演習で学んだ知識や技法が活用できるように意味づけを行い、学生自身が治療資源の一部としての役割を担い、より患者さんにとって必要なケアが見出せるように工夫しました。さらに、実習場面における感情の揺れをもとにプロセスレコードを活用し学生が自分自身の傾向に気づき、専門職として自己を活用することができるように工夫いたしました。

■ 学会における活動

	加入時期	所属学会等の名称	役職名等（任期）
1.	2011 年 6 月	日本精神科看護学会会員	
2.	2017 年 4 月	日本看護協会会員	
3.	2021 年 3 月	九州・沖縄 高度実践看護師活動促進協議会	精神看護担当代議員 (2021 年 3 月～現在に至る)
4.	2021 年 9 月	PAS セルフケアセラピィ看護学会	
5.	2022 年 11 月	日本専門看護師協議会	
6.	2024 年 2 月	日本精神保健看護学会	

■ 研究業績等に関する事項（2024 年度）

	発行又は 発表の年月	著書、学術論文等の名称	単著・ 共著の別	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概 要
（著書）					
1.					
2.					
3.					
（学術論文）					
1.					
2.					
3.					
（翻訳）					
1.					
2.					
3.					
（学会発表）					
1.	2024 年 6 月	長期入院後に退院した統合失調症患者の地域移行支援の時期と局面	単	日本精神保健看護学会第 34 回学術集会	長期入院後に退院した統合失調症患者を対象に質的記述的研究を行った。その語りから 141 のカテゴリーと 4 つの時期と局面が抽出された。その時期と局面に合わせ、患者と支援者との相互採用を大切にした支援の重要性が示唆された。
2.	2024 年 6 月	長期入院後に退院した統合失調症患者の地域	単	第 49 回日本精神科看護学術集会	長期入院後に退院した統合失調症患者を対象に質的記述的研究を行った。それにより、精神科長期入院患者が退院を決意するまでの時期における専門職やチ

		移行期を中心とした退院支援に対する思い(第2報)			ームによる支援について患者がどのように認識し、どのような思いを抱いて退院に動機づけられたのかが明らかになった。
3.					

■ 外部資金（科学研究費補助金等）導入状況（本学共同研究費を含む）

(1) 共同研究				
	研究題目	交付団体	研究者 ○代表者（）内は学外者	交付決定額 (単位：円)
1.				
2.				
3.				

(2) 個人研究				
	研究題目	交付団体	交付決定額 (単位：円)	備考
1.				
2.				
3.				

■ 社会における活動

	任期 期間等	団体・委員会等の名称 (内容)	役職名等
1.	2023年～現在に至る	エルゼビア・ジャパン株式会社 ナーシングスキル精神科看護コンテンツ うつ病の患者さんの看護	動画講義における講師 監修
2.	2024年2月	九州・沖縄高度実践看護師活動 促進協議会 第6回精神看護事例 検討会	事例提供
3.	2024年4月	医療法人青陵会 南ヶ丘病院 2024年度採用時研修	研修講師
4.	2024年6月	株式会社 夢 訪問看護ステーションリカバリ	研修講師

		ー 職員研修	
5.	2024 年 7 月	株式会社 夢 訪問看護ステーションリカバリ ー 職員研修	研修講師
6	2024 年 7 月	市民ボランティアグループ 介護者サロン まなみどり 職員研修	研修講師
7.	2024 年 8 月	医療法人青陵会 南ヶ丘病院 職員研修	研修講師
8	2024 年 8 月	福岡県精神科病院協会 北九州地区 看護部長会主催 一般研修会	研修講師
9.	2024 年 9 月	PASセルフケアセラピー看護学 会第 7 回大会	実行委員
10.	2024 年 9 月	株式会社 夢 訪問看護ステーションリカバリ ー 職員研修	研修講師
11.	2024 年 12 月	株式会社 夢 訪問看護ステーションリカバリ ー 職員研修	研修講師
12.	2025 年 1 月	福岡県精神科病院協会 北九州地区 看護部長会研修	研修講師

■ 学内における活動等（役職、委員、学生支援など）

	任 期 期 間 等	会議・委員会等の名称 (内 容)	役 職 名 等
1.	2023 年 4 月～現在に至る	職員研修委員会	委員
2.	2024 年 4 月～	3 年生アドバイザー	委員
3.	2024 年 4 月～現在に至る	学力向上委員会	委員